

新型コロナワクチン接種情報

7月21日現在

現在、国からのワクチン供給スケジュールが非常に不透明な状況であるため、接種に関するスケジュールの再調整を行っています。各種スケジュールは決まりしだい、市ホームページや、かさめ〜、LINE等でお知らせします。



市ホームページ



かさめ〜



市LINE

接種後の副反応「発熱」「痛み」への対応について

新型コロナワクチンでは、接種後に注射した部位の痛み、倦怠感、頭痛、筋肉痛、発熱、接種部位の腫れ等がみられますが、たいてい数日以内で良くなるのが分かっています。下表は副反応の頻度が高い「発熱」や「痛み」の受診の判断の参考にしてください。



発熱した時

接種から48時間以内	高い熱が出ることもありますが、解熱剤（よく使っているもの）を内服してゆっくり休みましょう。微熱程度でも、辛いと感じたら解熱剤を内服して大丈夫です。
発熱が48時間以上続く 熱以外に咳や鼻水、喉の痛み などの症状を伴う	病院に連絡し、受診の指示を仰ぎましょう



接種部位が痛む時

痛み止め（解熱剤と同じ）でコントロールできる程度	様子を見ましょう
翌日に強い痛みが出たが、少しずつ良くなっている	
接種翌日よりも翌々日の方が痛いなど、悪化しているとき	受診してください
痛みが強く上腕全体（二の腕全体）が腫れて熱感を持っている	

Q：市販の解熱鎮痛薬（解熱剤）を飲んでもよいの？

A：市販されている解熱剤の種類には、アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬（イブプロフェンやロキソプロフェン）などがあります。いずれもワクチン接種後の発熱や痛みなどにご使用いただけますが、製品毎に対象年齢などが異なりますので、確認のうえご使用ください。

ただし、他のお薬を内服している、病気治療中、症状が長く続いている場合などは、主治医や薬剤師にご相談ください。

熱が出た時、腕が痛くなった時、その時に初めて薬を飲むかどうか考えても十分間に合います。“熱が出るかもしれないから予防的に解熱剤を飲もう”という考えはやめましょう。

ワクチン接種
副反応に関する相談先

茨城県新型コロナワクチンコールセンター
電話番号029-301-5394（24時間365日対応）

接種を受けた皆さんへ

ワクチンを接種した方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。

引き続き、感染予防対策「三密（密集・密接・密閉）の回避、マスクの着用、手洗い、手指消毒」を継続してください。

問 笠間市予約・相談センター TEL.0570-052-567 8:30~17:15（土日祝日も受付）
〈・集団接種の予約 ・ワクチン接種の相談 ・クーポン券の紛失に関すること〉